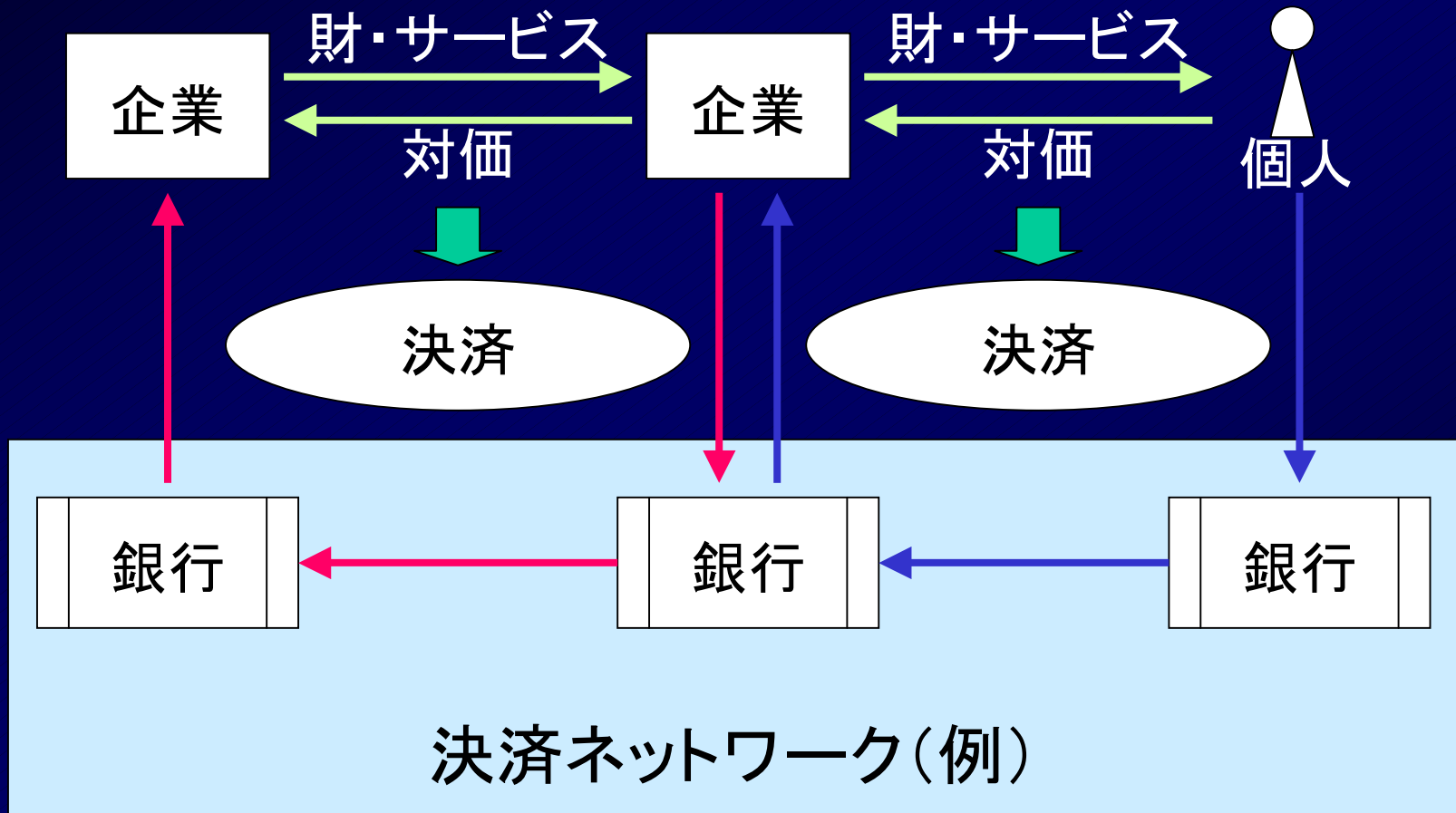


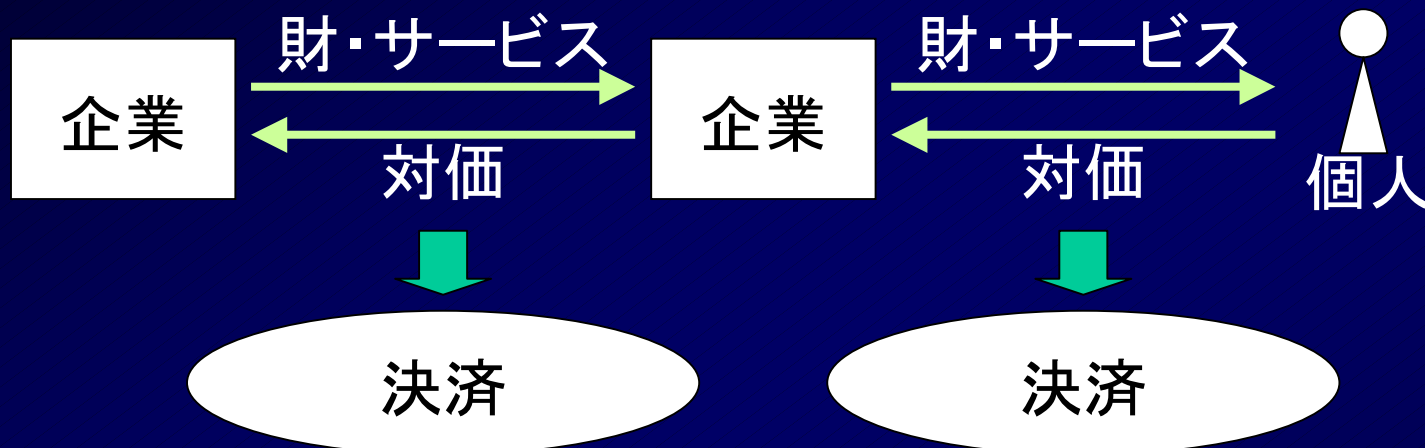
日本の決済ネットワーク崩壊 と新たな秩序

金融コンサルティング事業部
マネジングコンサルタント
金高 篤

決済、決済ネットワークの例



従来の決済ネットワーク



- FB (ファーム・バンキング)
- CMS (キャッシュ・マネジメント・サービス)

- ATM網
- クレジットカード

- 銀行内ネットワーク(支店網+勘定系)
- 全国銀行データ通信システム
- 外国為替円決済システム
- 日銀ネット(銀行間)

決済ネットワークを支える基本要素

決済ネットワーク

信用・信頼

技術・ノウハウ

規制

+

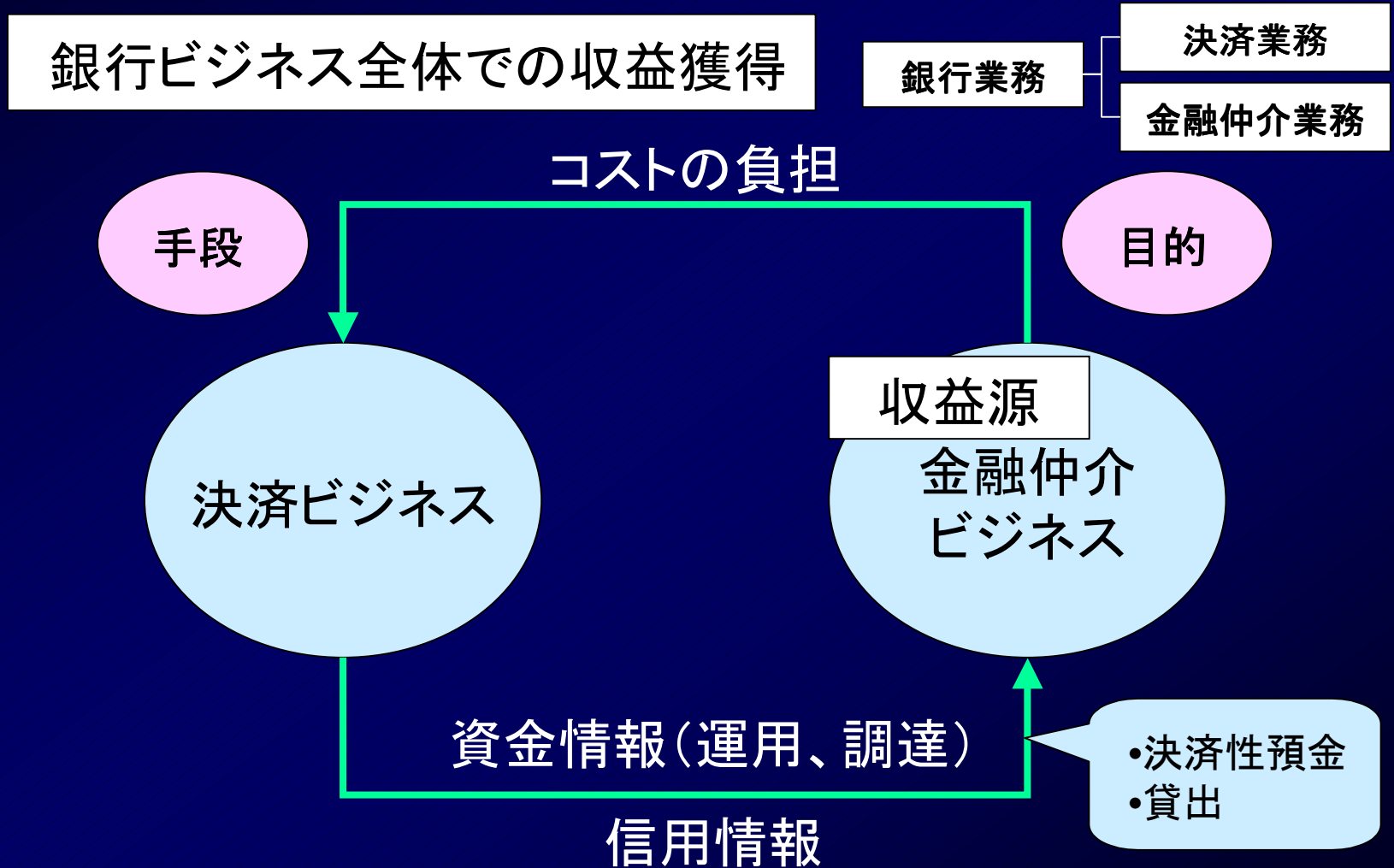
金融仲介機能



銀行

クローズド
ネットワーク

銀行ビジネスにおける決済の位置づけ



決済ネットワークを支える基本要素の変化

決済ネットワーク

信用・信頼

技術・ノウハウ

信用力の変化

- 銀行の格付低下
- 銀行の株価低下

IT・FTの発展

- 情報技術(IT)の進展
- 財務技術(FT)の進化

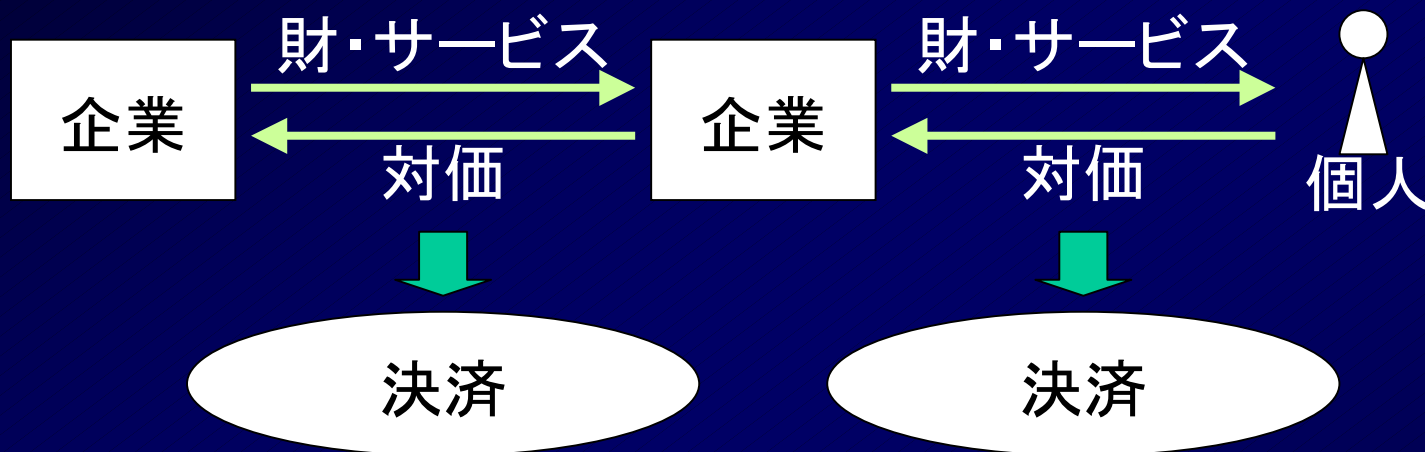
規制

規制緩和

- 新規参入の容認
- 新商品等の認可

金融仲介機能

決済ビジネスに関する新たな動き



- 企業内銀行
- グループ内銀行
- マーケットプレイス
- エスクローサービス

- インターネット専門銀行
- 決済専門銀行
- コンビニ代金収納
- 宅配便決済

インターネット専業銀行(ネットバンク)

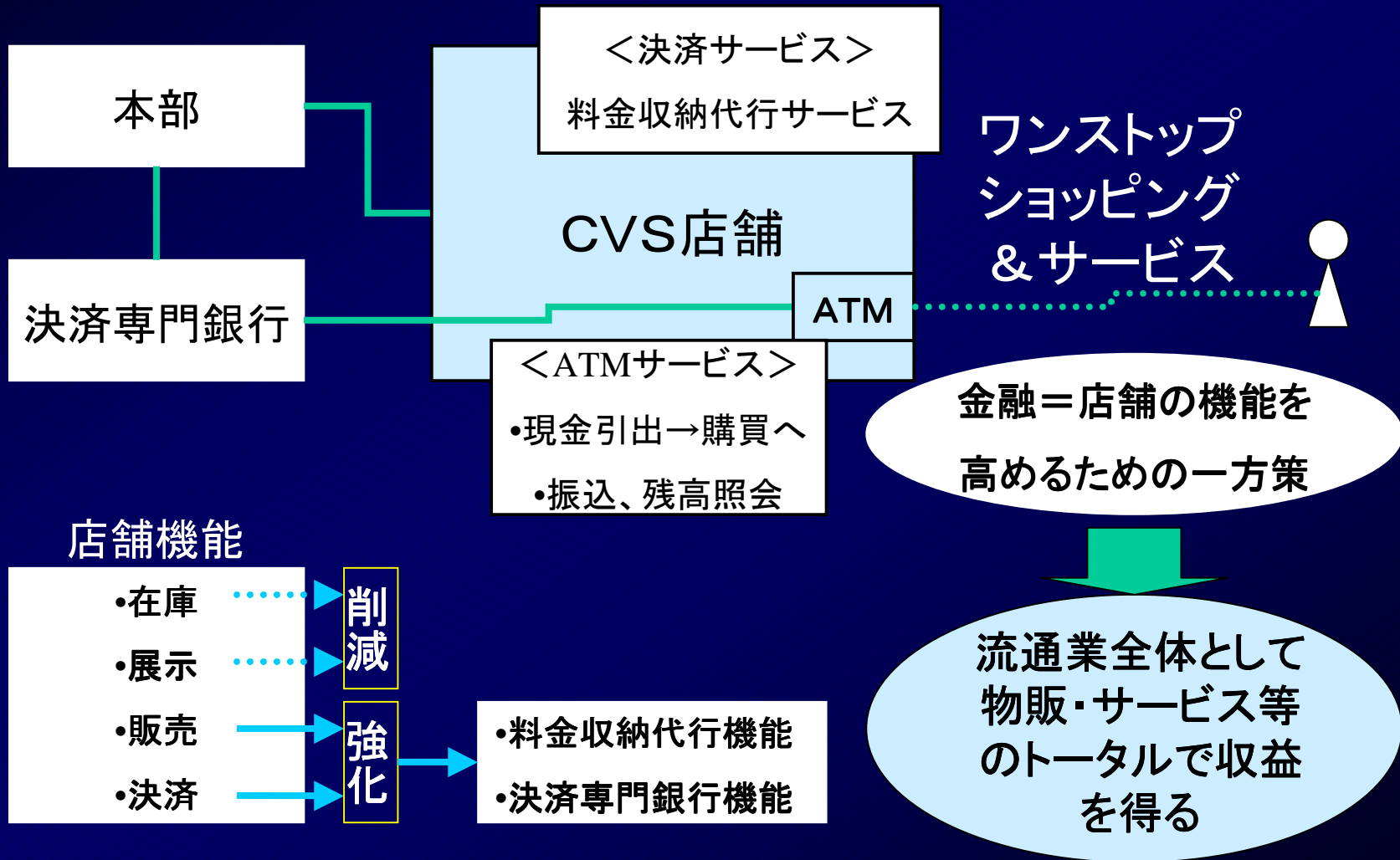
BtoC

- ジャパンネット銀行が2000年10月に開業。
- 伊藤忠等のイーバンク銀行が2001年春に開業を予定。
- ソニー等も参入を検討中。
- 三和銀行は、設立見送りを決定(2000年10月)。
- シティグループ(本体に吸収)、バンクワン等は撤退方針。
→ ネットバンク単体での収益性については疑問符。

- 都銀のインターネットバンキングは、急速に増加。
住友銀行で200万口座、さくら・第一勧業・三和でも
各100万口座を上回る。

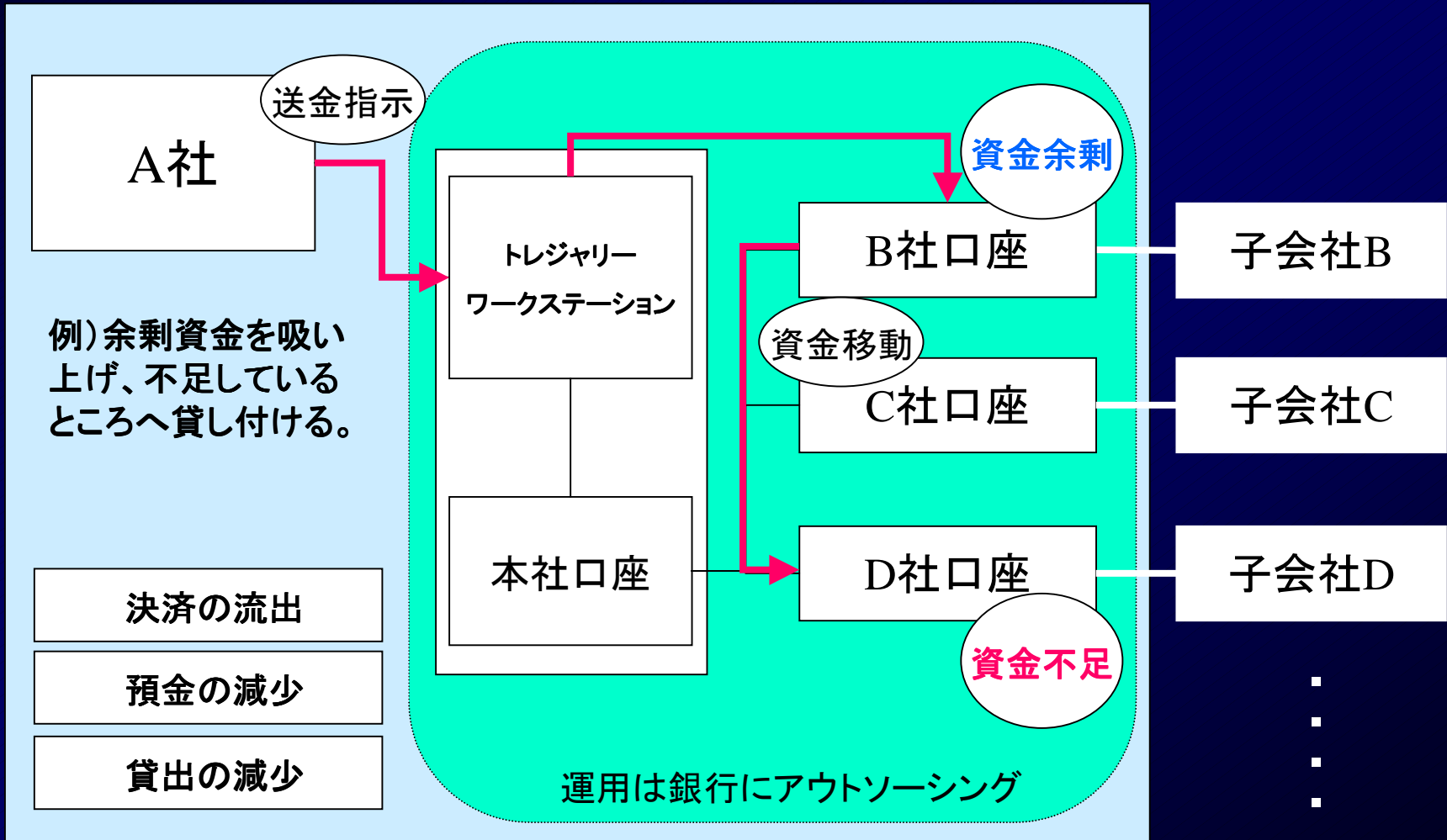
コンビニ決済（決済専門銀行）

BtoC



企業内銀行

BtoB

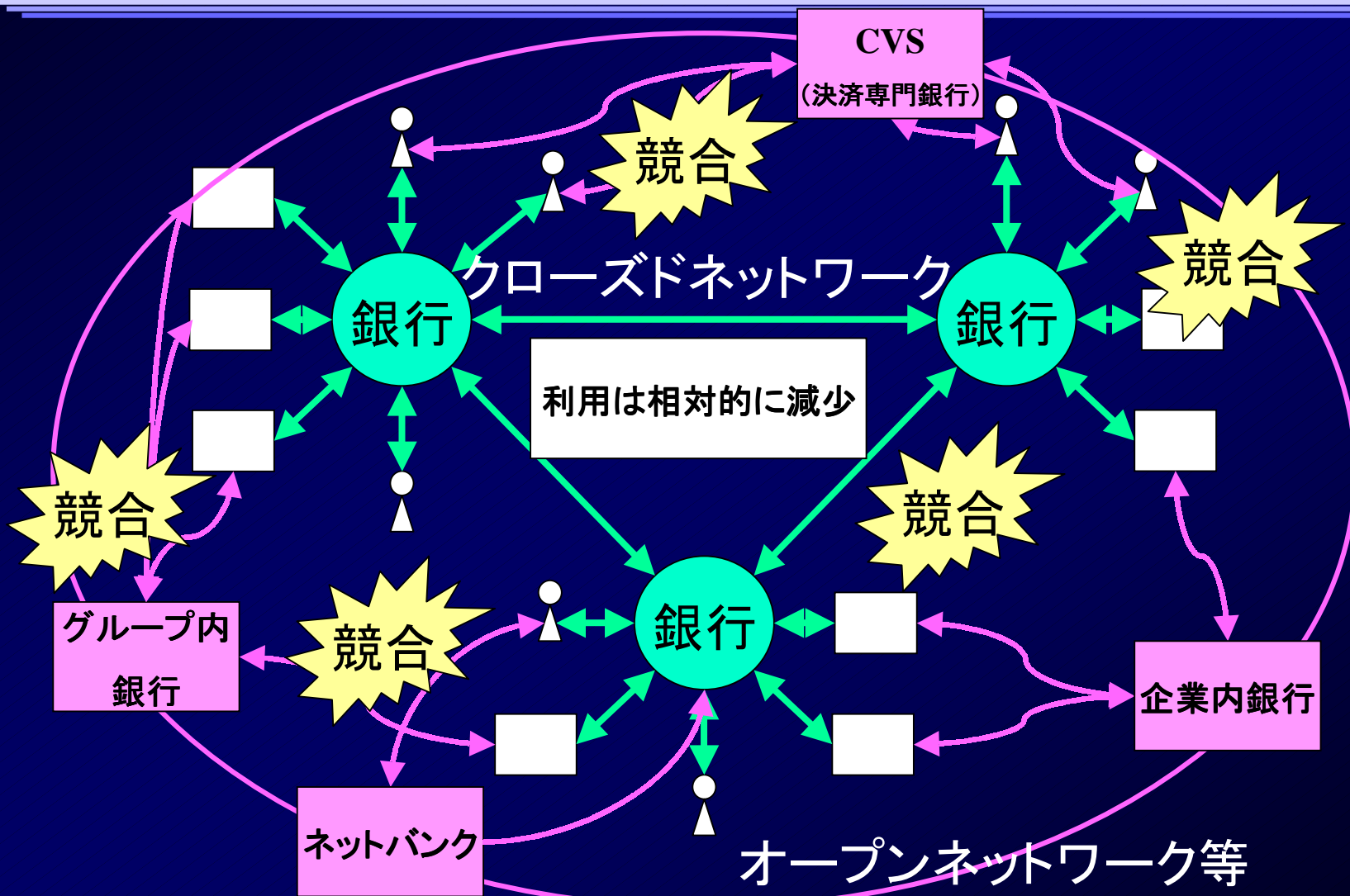


決済ビジネスに関する新たな動きの特徴

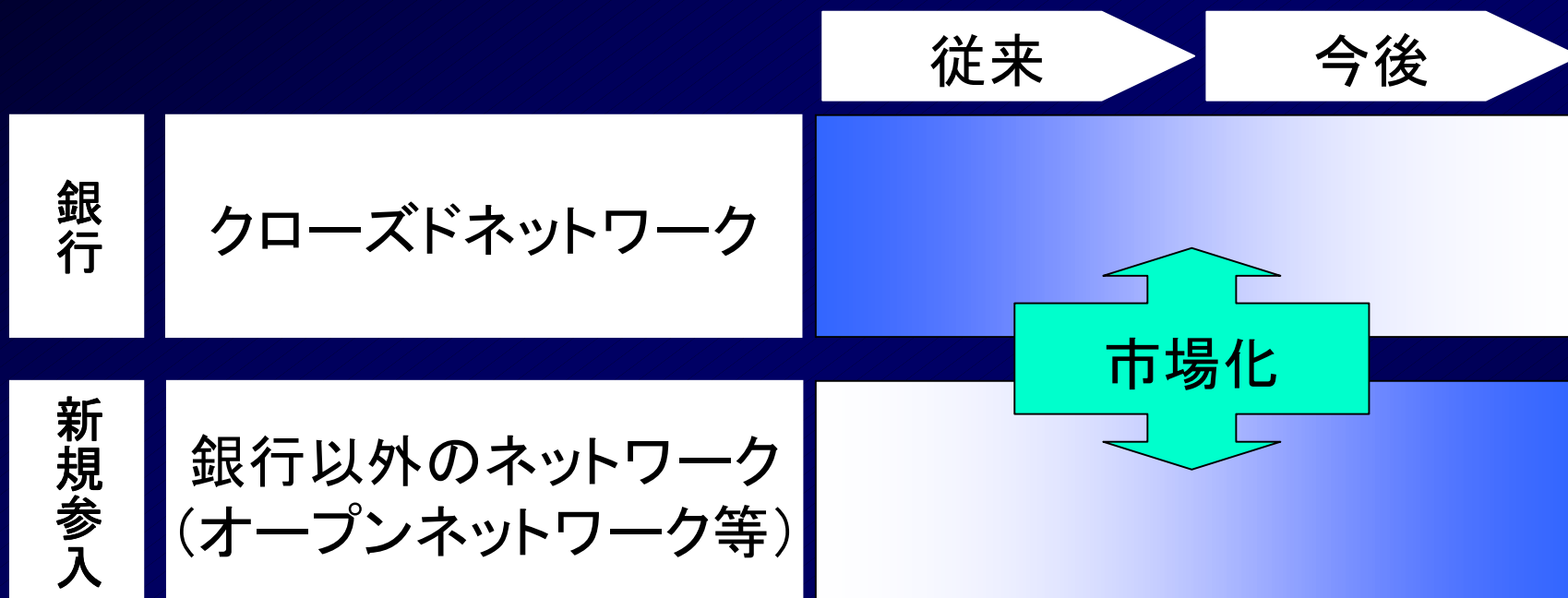
- 銀行以外の異業種が新規参入。
- オープンネットワーク(インターネット等)の利用。
- 既存インフラの有効活用。
- 顧客にとり、スピードアップ、自由度向上、ローコスト。

顧客の利便性、コストを考えた「ビジネス」として決済へ参入。

決済ネットワークの将来

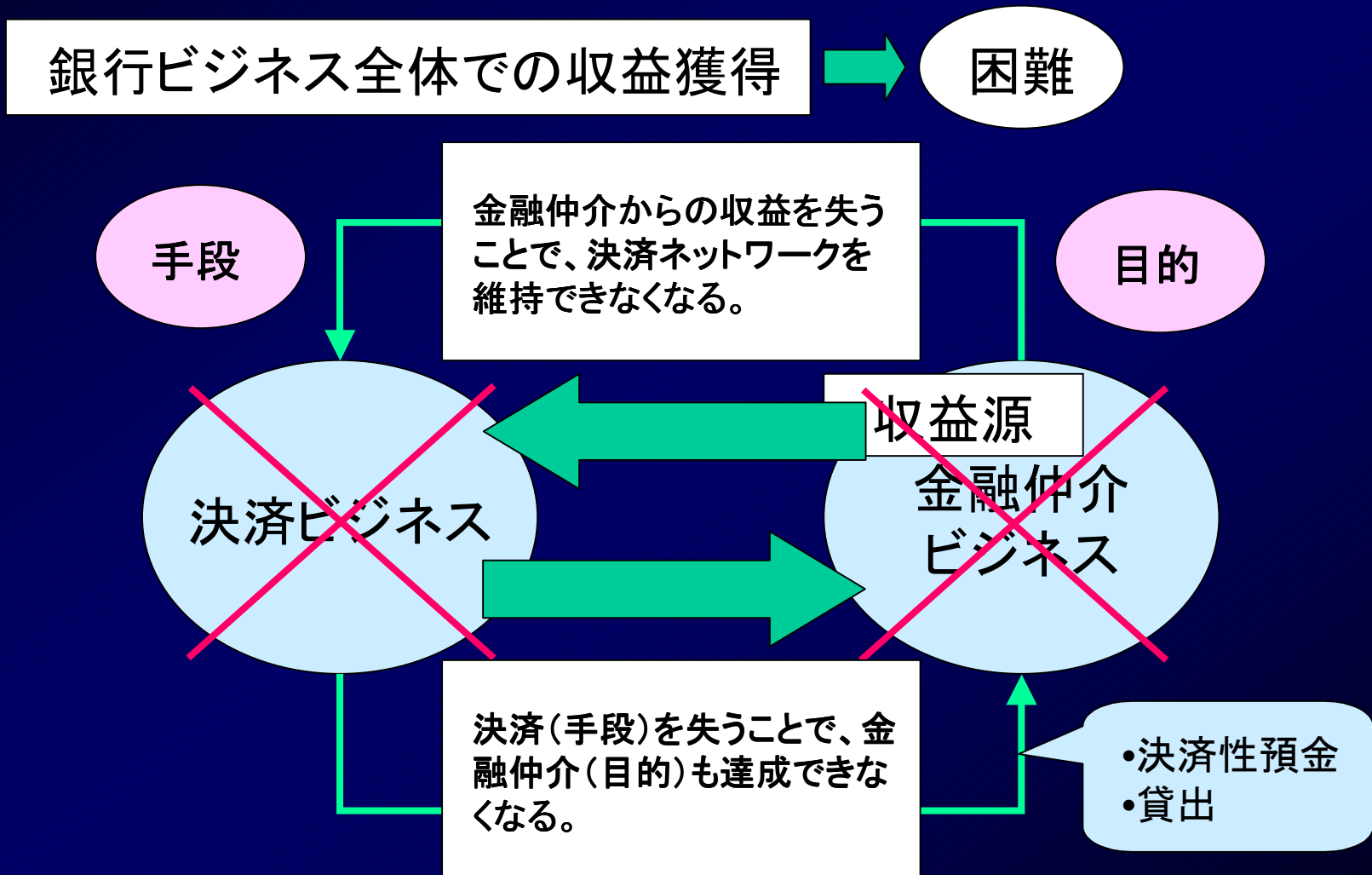


既存の銀行へのインパクト



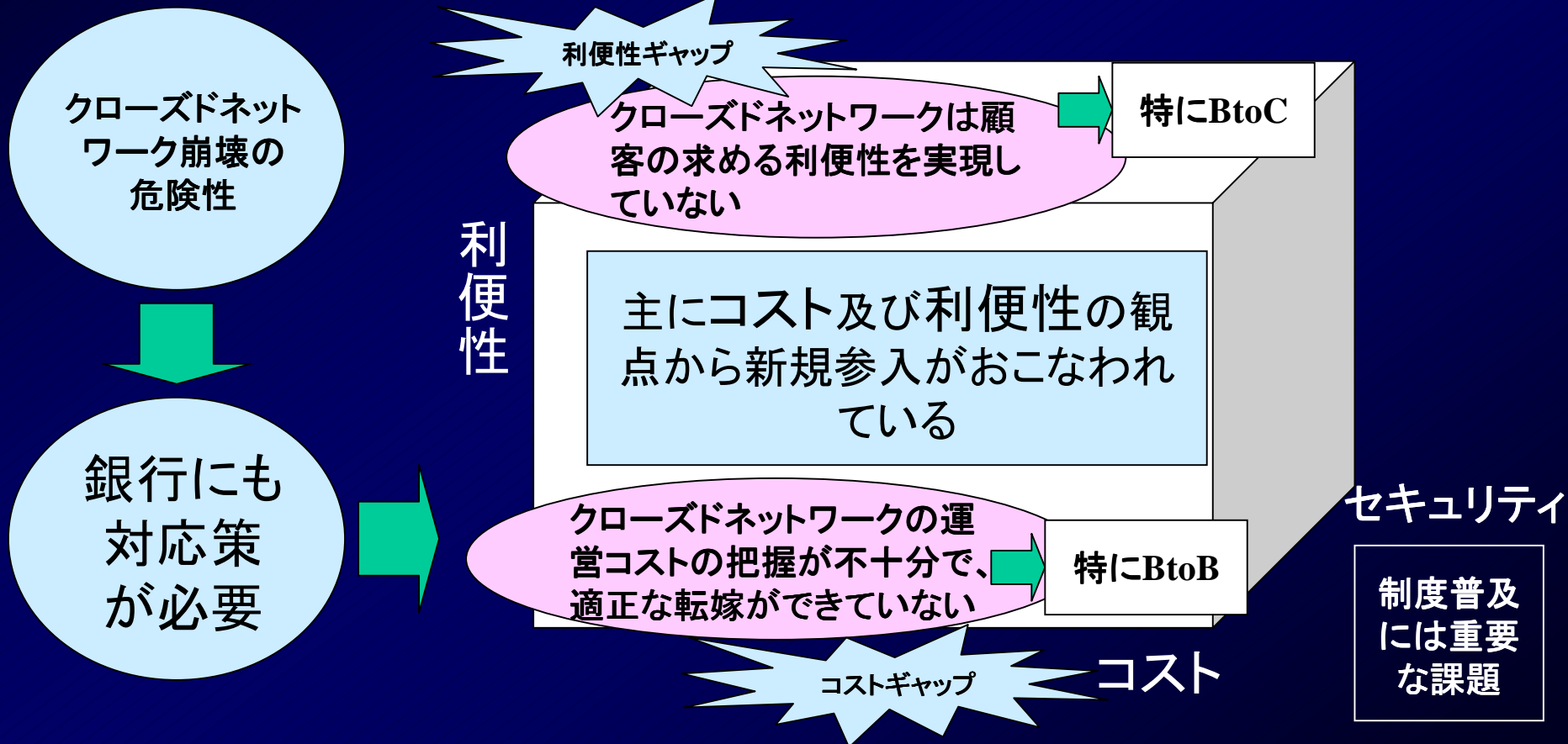
- ➡ 決済ネットワークの利用減による、収入手数料の減少。
- ➡ 資金情報、信用情報の減少による、金融仲介ビジネスにおける収益の減少。

決済ネットワーク崩壊の構図

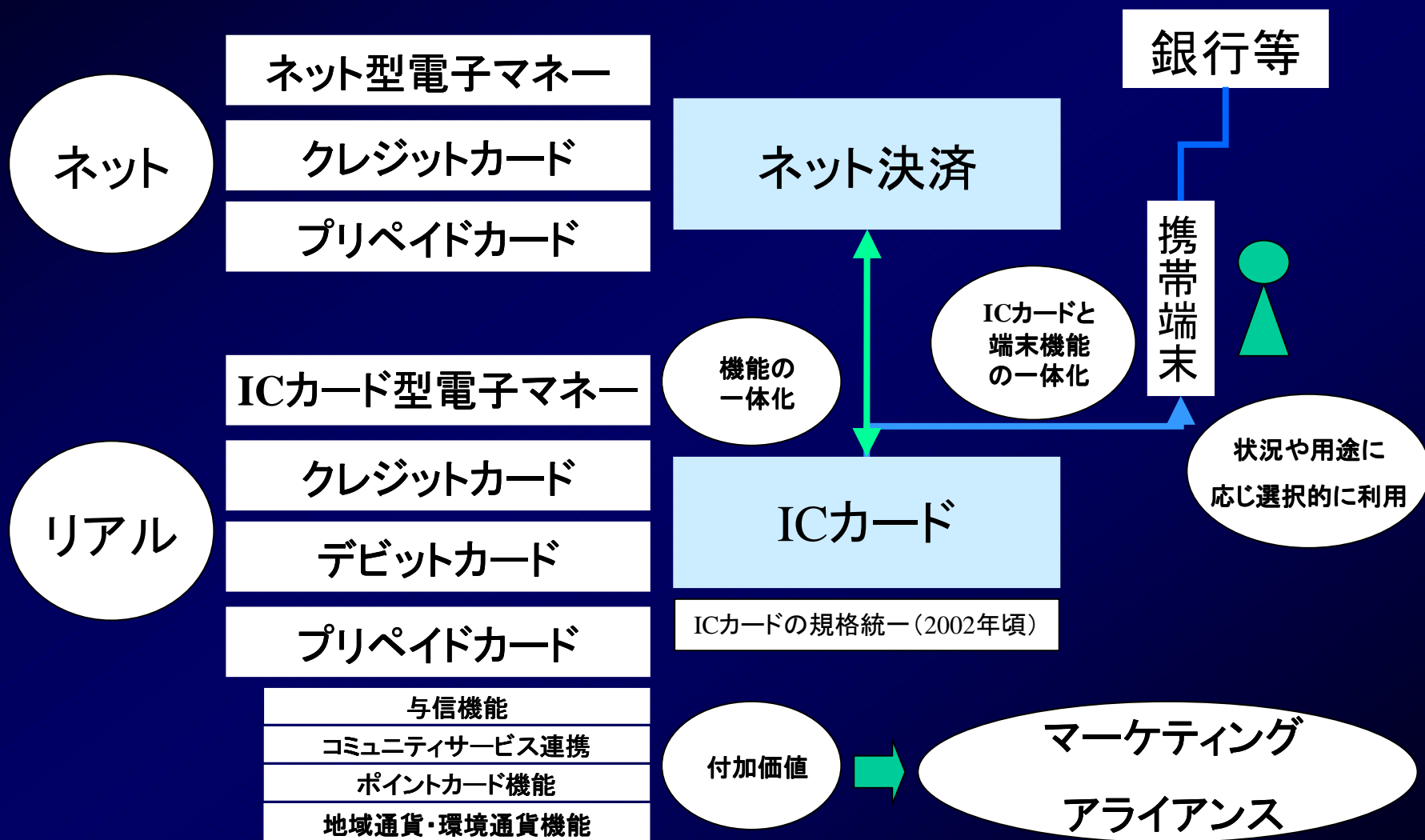


顧客にとっての決済の価値

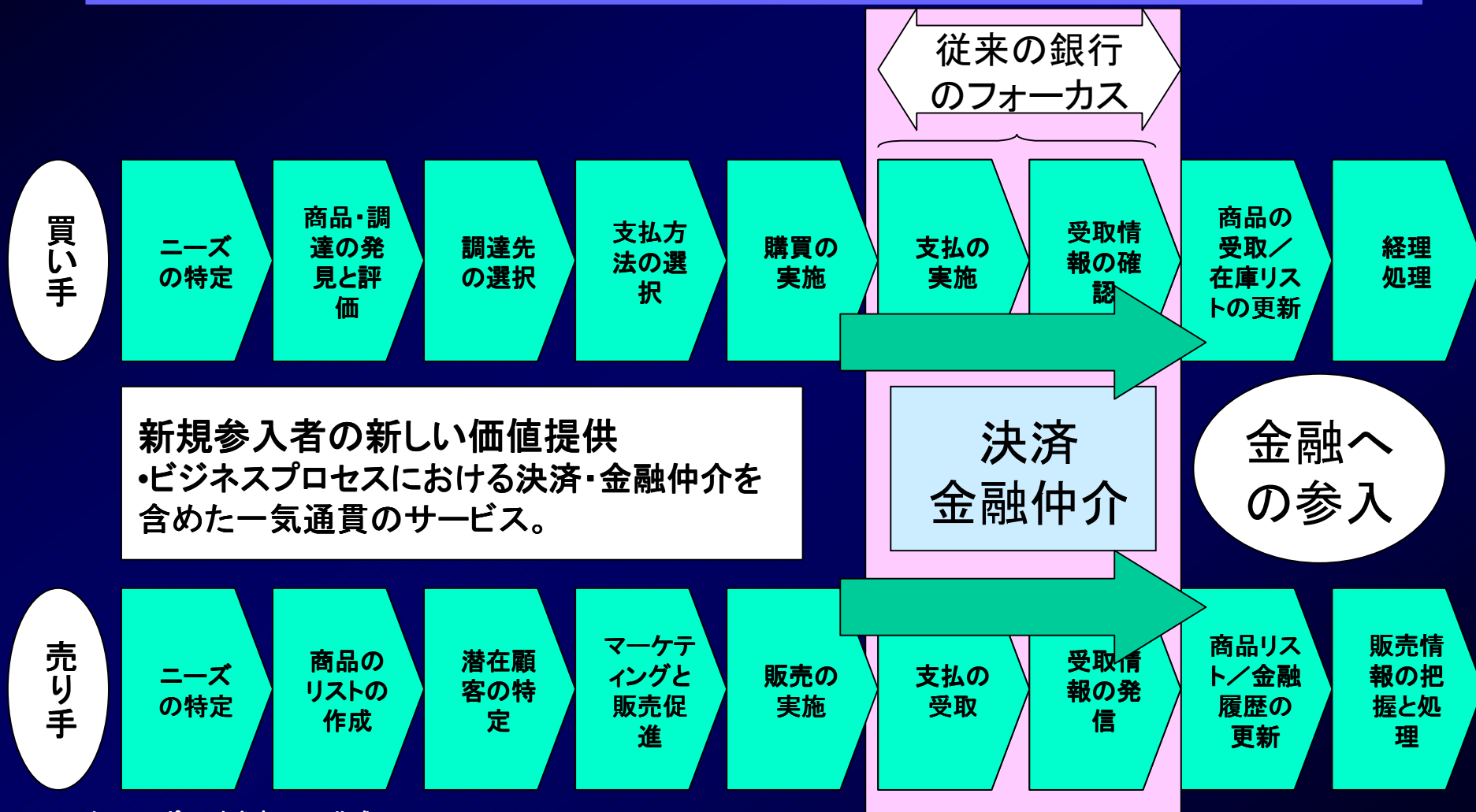
決済の価値とは、決済ネットワークが顧客の納得する利便性、コストを備えているかということ。



BtoCにおける決済の将来

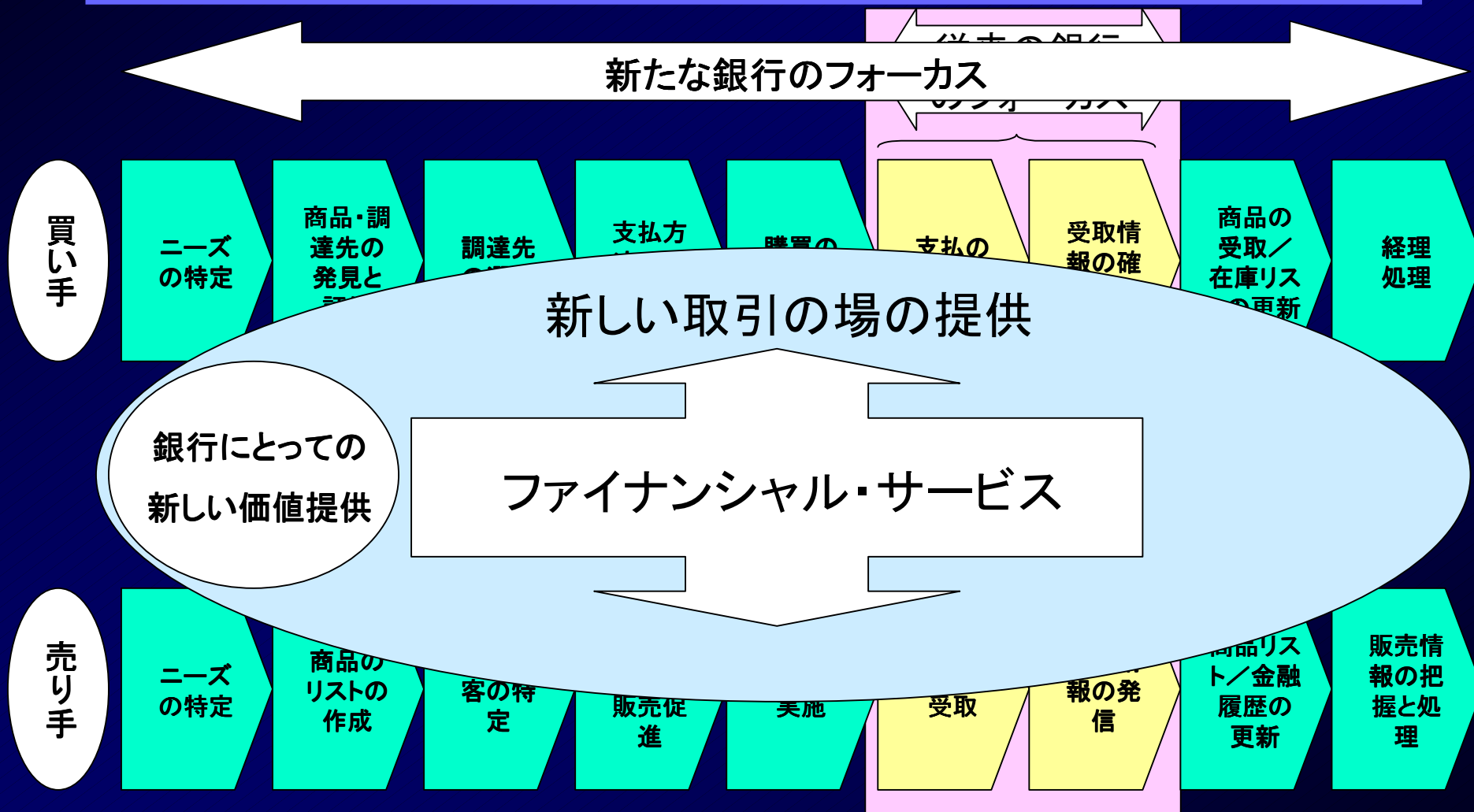


BtoB決済における新規参入者の視点

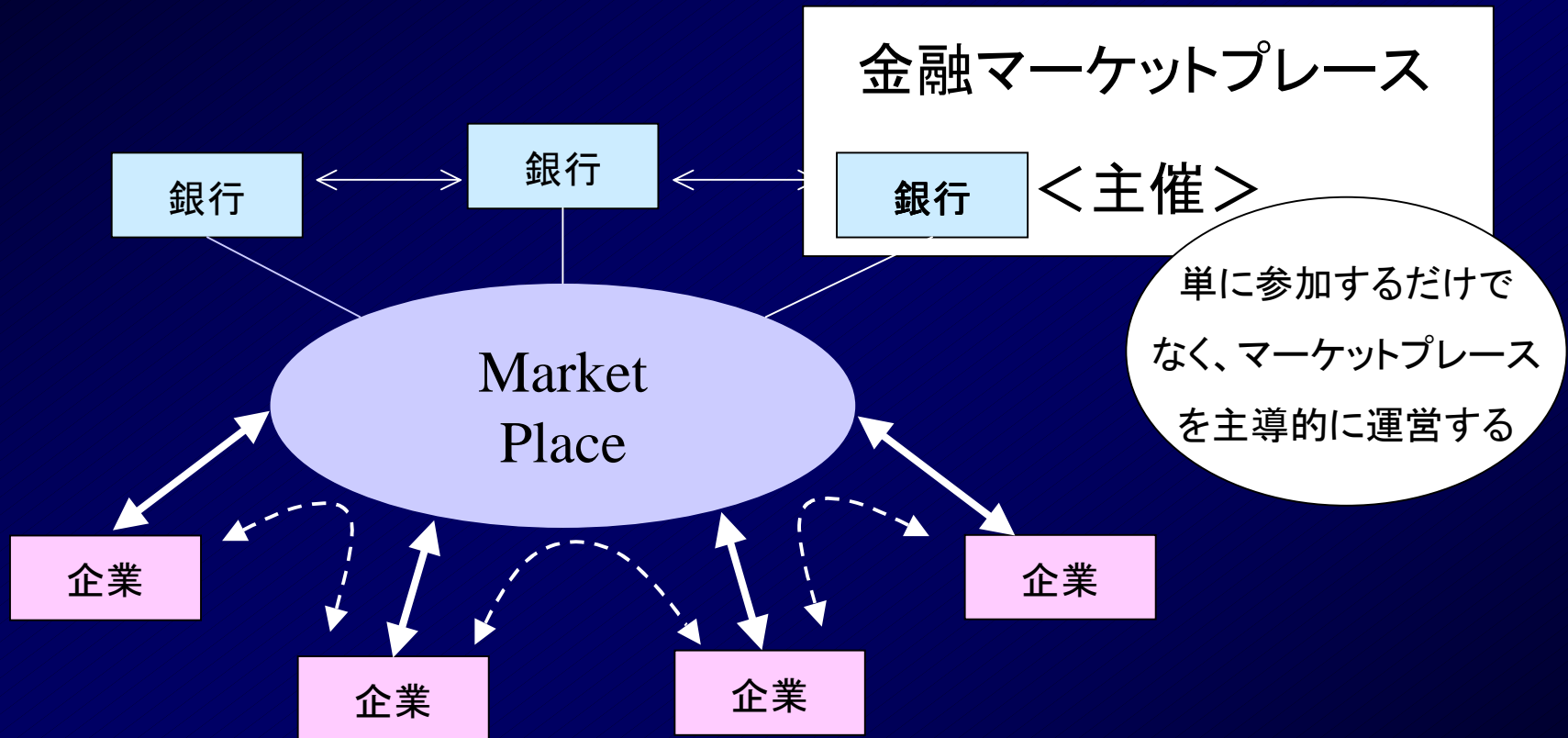


※ タワーレポートを参考にFRI作成

BtoB における銀行のフォーカスの変更

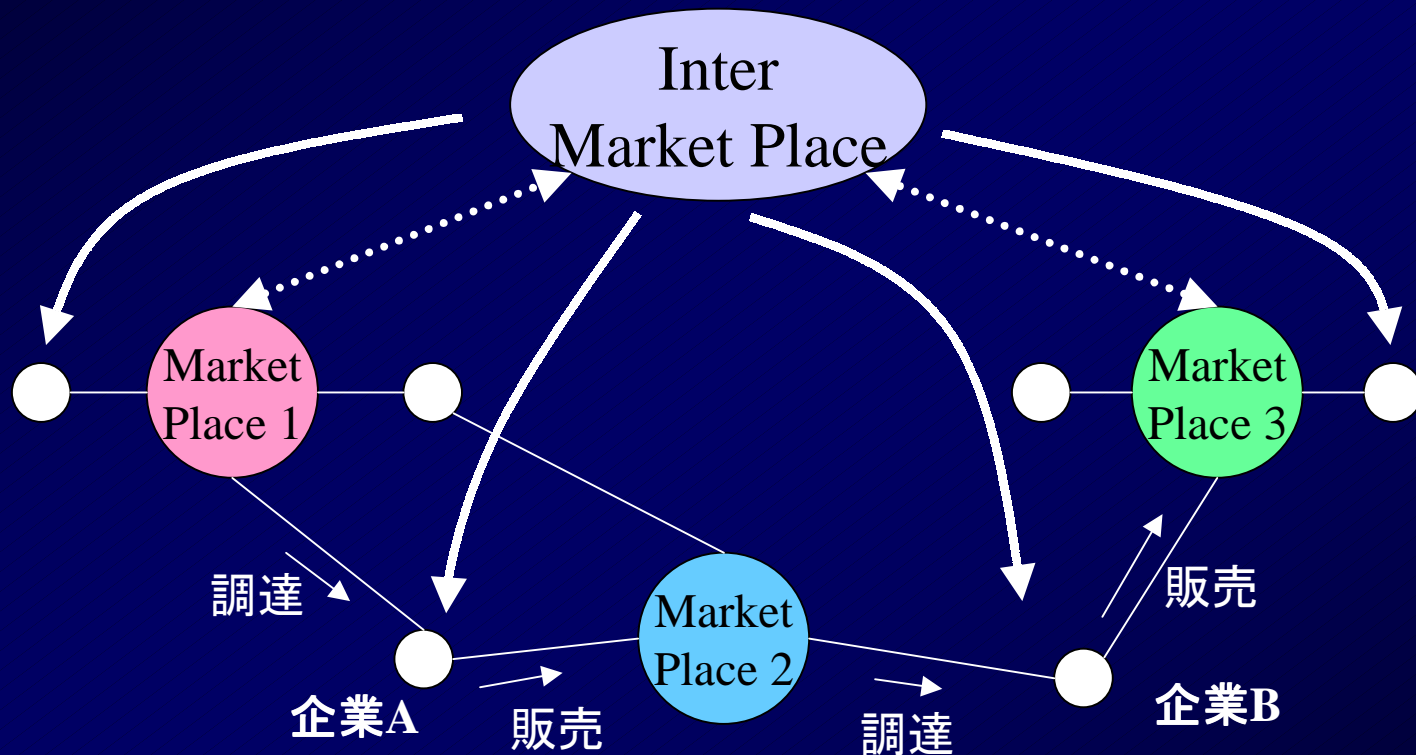


金融マーケットプレイス



IT・インターネットが基盤

インターマーケットプレイス



個別 Market Place 単位でのサービスの制約を、複数 Market Place 間を包括する Inter Market Place のサービスにより補完。